



Q 駅前広場、^{ひど}酷い利用状況の改善を

& 岸野 雅 人 (文責)



A 改善策を検討し、対策を進めたい



質問 観光客が車道から駅を背景に記念写真を撮る。転倒も見た。

東口北側、繁忙期は大型観光バスが詰めかける。夜は買い物客がバス待機所に入る。一般車の侵入は何度も見たが、最も酷いのは路線バス停留所枠内の長時間駐車。

西口広場は、一般車がタクシー乗降所・待機所やマイクロバス乗降所に停車。宿泊施設やレンタル業者の送迎車が緊急用車両スペース（進入禁止）を使うことが常態化。そこから駅への横断は車道。緊急車両はタクシー乗降所を使う。出入口から駐車スペース

が開くのを待って収拾がつかない。それでマイクロバスが入らず、旋回も停車

もできない場面をよく見る。ロータリー逆走は度々目にし、注意もした。足湯などの利用者が広場を突っ切る。駅⇨観光の玄関口が混乱し危険で改善が必要だ。どう対処するのか。

答弁

越後湯沢駅前広場は多くの人が利用し、歩行空間の確保が課題。東口ではDMOが案内や整理をしているが、東口への一般車進入禁止大型看板設置も十分でない。駅専用駐車場の満車により駅前広場に一般車が流入、送迎や宿泊施設の運行に影響する。

今冬終了後、バス・タクシー会社、DMOと課題を洗い出し、「駅東口駅前広場運用検討会議」などで改善策を検討し対策を進めたい。

質問

西口も検討が必要。ただくべき利用料は東口への観光バス乗り入

れも同様、いただいて当然と考える。西口は季節的でも継続的な利用（反復性・固定性）の車輛からも占用料をいただく必要がある。

みんなの駅前広場、停めて降りて出るのは問題ない。混雑時の設定外の占用が問題。願わくば事故が起こる前に占用料の設定と徴収を含め、どう対処するか。

答弁

西口も同様に検討が必要。利用料・占用料も検討会議のなかで議論したい。駅前での乗降需要は増えている。事故が起きる前に、東西駅前広場の適切な利用方法を検討していく。

宮田地域整備部長 補正

運用改善や小規模改修で対応できるものは、9月補正に間に合うよう対策を考えたい。

他2問

外国人による不動産取得への考え方は

町道の除雪対象路線の基準は